2023（令和５）年度

「しごと情報ひろば」の認知度及び就労希望者の意識調査

報告書

Ⅰ　調査の概要

１　調査の目的

大阪市では、「しごと情報ひろば」を設置し、若年者・中高年齢者・障がい者・ひとり親家庭の親など「就職に向けた支援が必要な人」を対象に職業相談・紹介事業を実施している。本調査では、「しごと情報ひろば」の認知度及び就労希望者の意識等についてお聞きし、今後の施策の参考とするために実施した。

２　調査の実施状況

令和５年 12 月 14 日から 12 月 15 日にかけて、18 歳以上の大阪市民を対象に実施した民間ネット調査において、各年代別に男女それぞれ 50 人ずつ、合計 500 人からデータが得られた。

３　モニターの構成

（１）性別

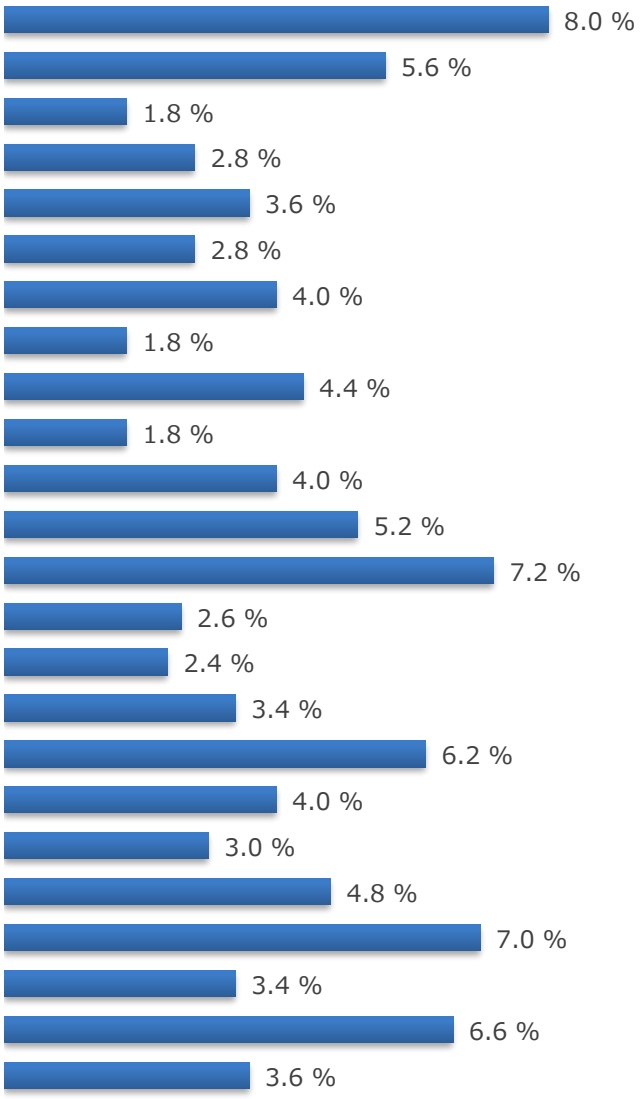
	回答数	%
男性	250	50.0
女性	250	50.0
その他	0	0.0
全体	500	100.0

（２）年齢階層

	回答数	%
18～29 歳	100	20.0
30～39 歳	100	20.0
40～49 歳	100	20.0
50～59 歳	100	20.0
60 歳以上	100	20.0
全体	500	100.0

（３）居住区

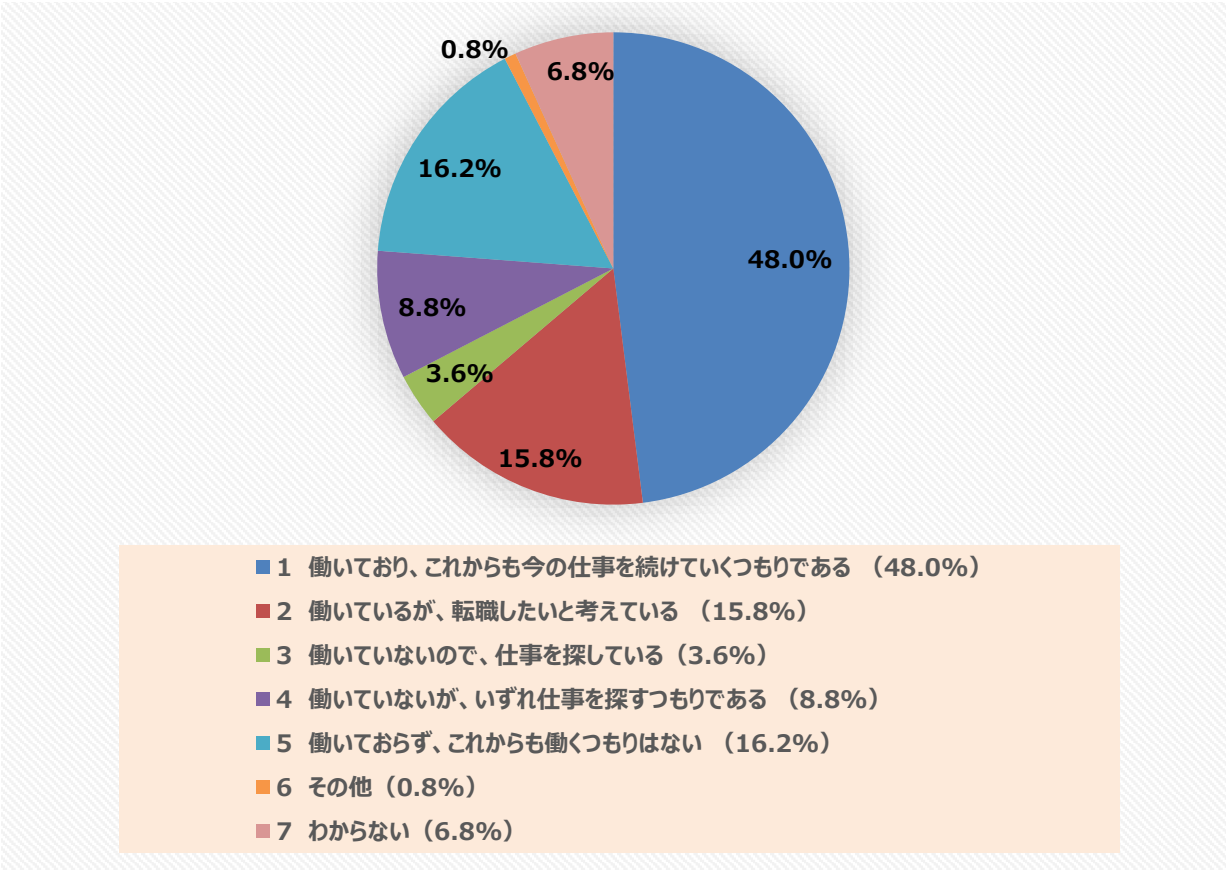
	回答数	%
北区	40	8.0
都島区	28	5.6
福島区	9	1.8
此花区	14	2.8
中央区	18	3.6
西区	14	2.8
港区	20	4.0
大正区	9	1.8
天王寺区	22	4.4
浪速区	9	1.8
西淀川区	20	4.0
淀川区	26	5.2
東淀川区	36	7.2
東成区	13	2.6
生野区	12	2.4
旭区	17	3.4
城東区	31	6.2
鶴見区	20	4.0
阿倍野区	15	3.0
住之江区	24	4.8
住吉区	35	7.0
東住吉区	17	3.4
平野区	33	6.6
西成区	18	3.6
全体	500	100



Ⅱ　調査結果の分析

問１　現在の仕事について、今後の予定・状況をお答えください。あてはまるものを１つ選択してください。

選択項目	回答者全体(500 名)	
	回答数	%
1　働いており、これからも今の仕事を続けていくつもりである	240	48.0
2　働いているが、転職したいと考えている	79	15.8
3　働いていないので、仕事を探している	18	3.6
4　働いていないが、いずれ仕事を探すつもりである	44	8.8
5　働いておらず、これからも働くつもりはない	81	16.2
6　その他	4	0.8
7　わからない	34	6.8



【全体的傾向】

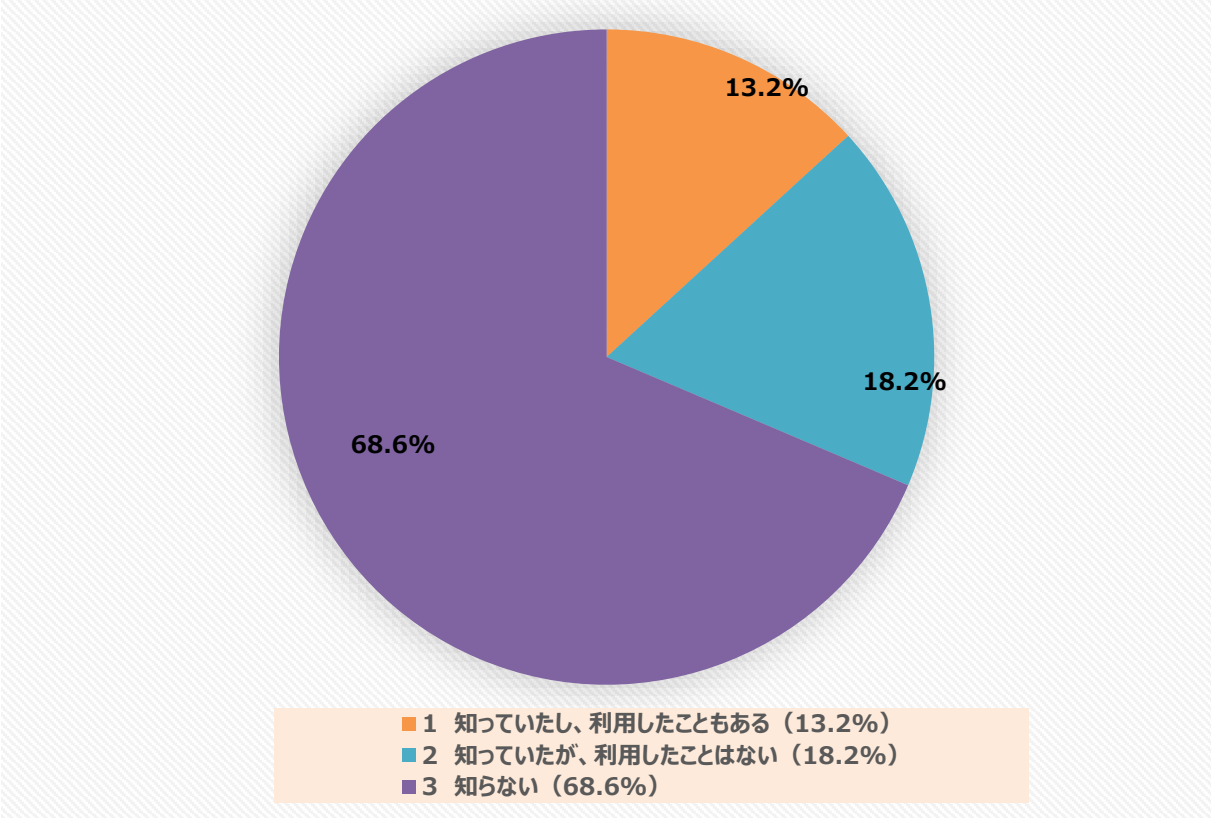
・　労働力調査の概念に当てはめると、従業者が 63.8%、失業者が 3.6%（以上が労働力人口）、就業可能非求職者（潜在労働力人口）が 8.8%となっている。

【属性別傾向】

・　就労支援の対象者となり得る属性を合計すると、28.2%（転職希望者 15.8%、失業者 3.6%、就業可能非求職者 8.8%）となっている。

問２　あなたは、大阪市において、お仕事をお探しの方への支援事業として、「しごと情報ひろば」４カ所（天下茶屋、西淀川、平野、クレオ大阪西・マザーズ）を運営し、ハローワークとも連携しながら、求職者に合ったきめ細かな職業相談・紹介を行っていることを知っていますか？あてはまるものを１つ選択してください。

選択項目	回答者全体(500 名)	
	回答数	%
1　知っていたし、利用したこともある	66	13.2
2　知っていたが、利用したことはない	91	18.2
3　知らない	343	68.6

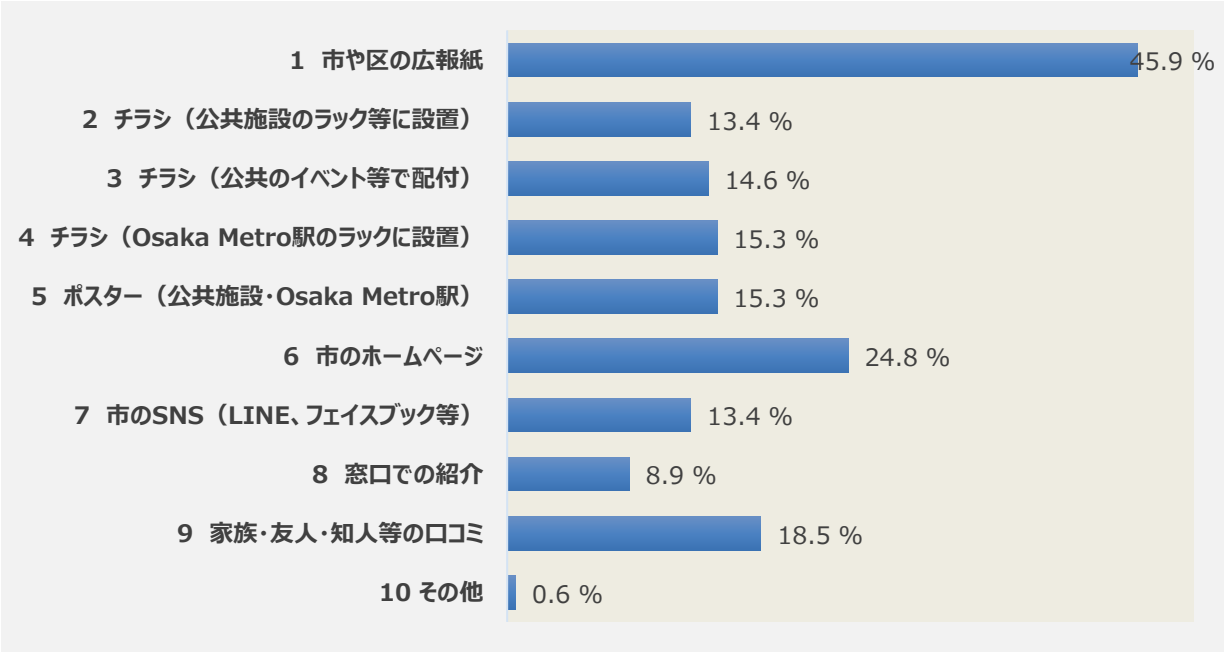


【全体的傾向】

・　「しごと情報ひろば」の認知状況については、「知っている」が計 31.4%、「知らない」が 68.6%となっている。

（問２で１及び２と選択した場合）
問３　あなたは、「しごと情報ひろば」をどのようにして知りましたか。あてはまるものをすべて選択してください。

選択項目（※複数回答可）	回答者全体（157 名）	
	回答数	%
1　市や区の広報紙	72	45.9
2　チラシ（公共施設のラック等に設置）	21	13.4
3　チラシ（公共のイベント等で配付）	23	14.6
4　チラシ（Osaka Metro 駅のラックに設置）	24	15.3
5　ポスター（公共施設・Osaka Metro 駅）	24	15.3
6　市のホームページ	39	24.8
7　市のＳＮＳ（ＬＩＮＥ、フェイスブック等）	21	13.4
8　窓口での紹介	14	8.9
9　家族・友人・知人等の口コミ	29	18.5
10 その他	1	0.6



【全体的傾向】

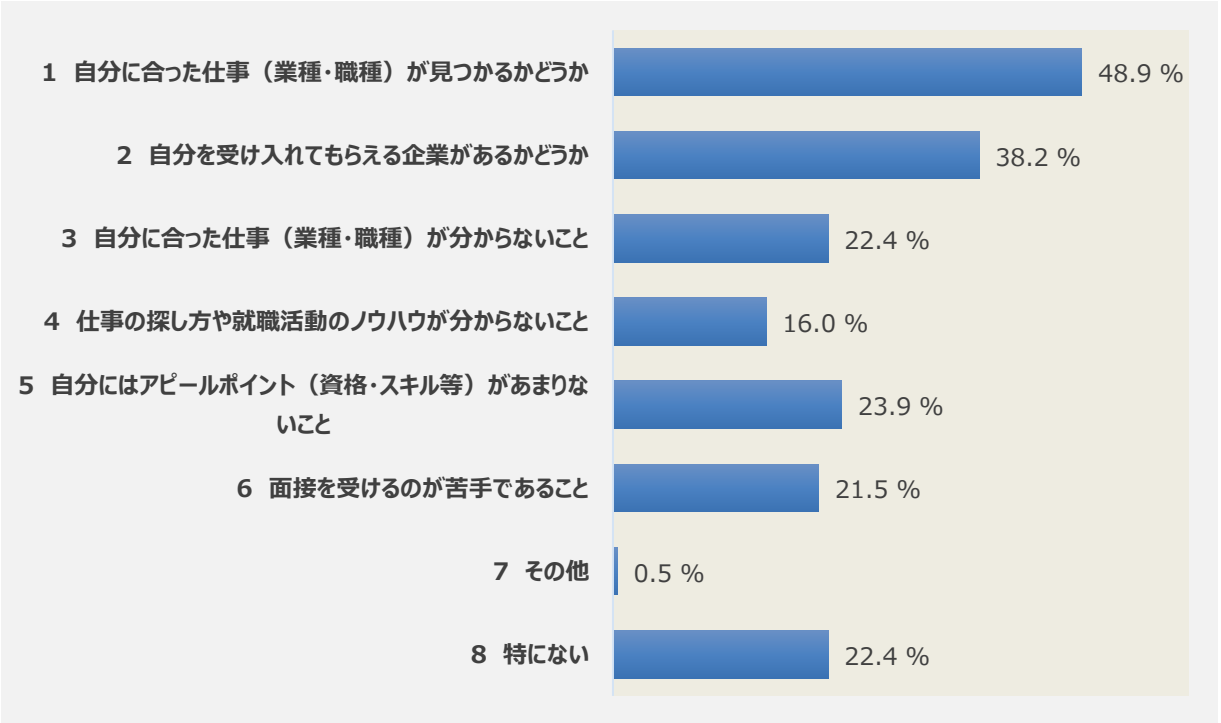
・　「しごと情報ひろば」を知るにいたった広報媒体は、「市や区の広報紙」が 45.9%と最も多く、次いで「市のホームページ」（24.8%）、「家族・友人・知人等の口コミ」（18.5%）となっている。

【属性別傾向】

・　ICT が普及する今日においても、ホームページのみならず、広報紙やチラシ、口コミによって情報収集が行われているという結果になっている。

（問１で 1, 2, 3, 4, 6, 7 を選択した場合）
問４　あなたが仕事を探すうえで不安に思うことは何ですか？あてはまるものをすべて選択してください。

選択項目（※複数回答可）	回答者全体(419 名)	
	回答数	%
1　自分に合った仕事（業種・職種）が見つかるかどうか	205	48.9
2　自分を受け入れてもらえる企業があるかどうか	160	38.2
3　自分に合った仕事（業種・職種）が分からないこと	94	22.4
4　仕事の探し方や就職活動のノウハウが分からないこと	67	16.0
5　自分にはアピールポイント（資格・スキル等）があまりないこと	100	23.9
6　面接を受けるのが苦手であること	90	21.5
7　その他	2	0.5
8　特にない	94	22.4

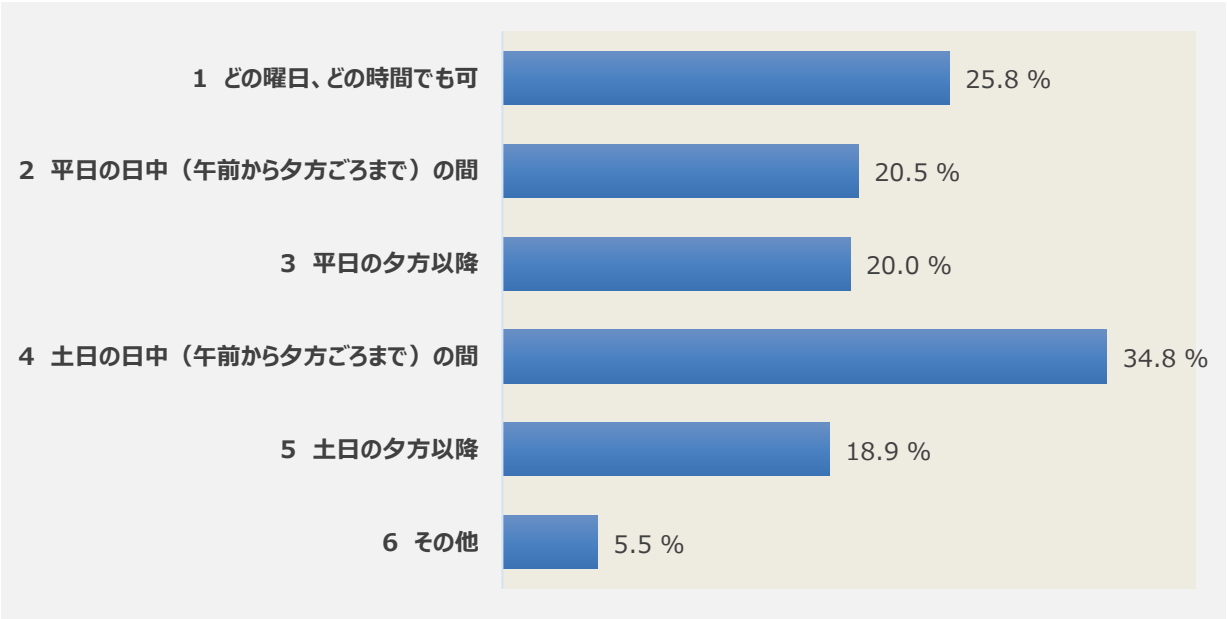


【全体的傾向】

・　就職活動を行う上での不安として、「自分に合った仕事が見つかるかどうか」が 48.9%と最も多く、次いで「自分を受けてもらえる企業があるかどうか」(38.2%)、「自分にはアピールポイント（資格・スキル等）があまりないこと」(23.9%）となっている。

（問１で 1, 2, 3, 4, 6, 7 を選択した場合）
問５　大阪市「しごと情報ひろば」では、就職に役立つセミナーや合同企業説明会など行っていますが、参加するとすれば、どの曜日、どの時間が良いですか？あてはまるものをすべて選択してください。

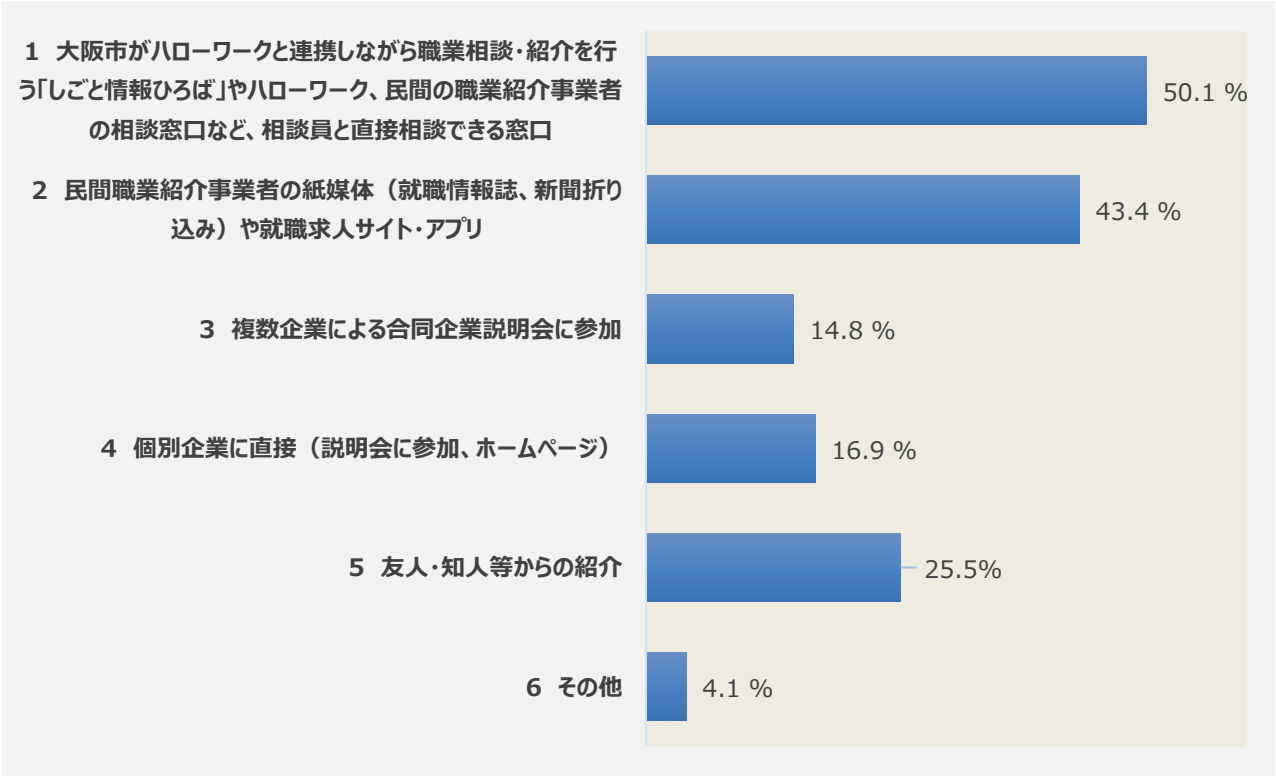
選択項目（※複数回答可）	回答者全体(419 名)	
	回答数	%
1　どの曜日、どの時間でも可	108	25.8
2　平日の日中（午前から夕方ごろまで）の間	86	20.5
3　平日の夕方以降	84	20.0
4　土日の日中（午前から夕方ごろまで）の間	146	34.8
5　土日の夕方以降	79	18.9
6　その他	23	5.5



【全体的傾向】
- 就活イベントへの参加ニーズについては、「土日の日中（午前から夕方ごろまで）の間」が 34.8%と最も多く、次に「どの曜日、どの時間でも可」が 25.8%と多い。
- 参加する時間帯については、平日は「午前から夕方ごろまでの間」が「夕方以降」をわずかに上回り、土日は「夕方以降」より、「午前から夕方ごろまでの間」が参加しやすいという結果になっている。

（問１で 1, 2, 3, 4, 6, 7 を選択した場合）
問６　あなたが、仕事を探すとしたら、どのサービスを利用しようと思いますか？
あてはまるものをすべて選択してください。

選択項目（※複数回答可）	回答者全体(419 名)	
	回答数	%
1　大阪市がハローワークと連携しながら職業相談･紹介を行う「しごと情報ひろば」やハローワーク、民間の職業紹介事業者の相談窓口など、相談員と直接相談できる窓口	210	50.1
2　民間職業紹介事業者の紙媒体（就職情報誌、新聞折り込み）や就職求人サイト・アプリ	182	43.4
3　複数企業による合同企業説明会に参加	62	14.8
4　個別企業に直接（説明会に参加、ホームページ）	71	16.9
5　友人・知人等からの紹介	107	25.5
6　その他	17	4.1

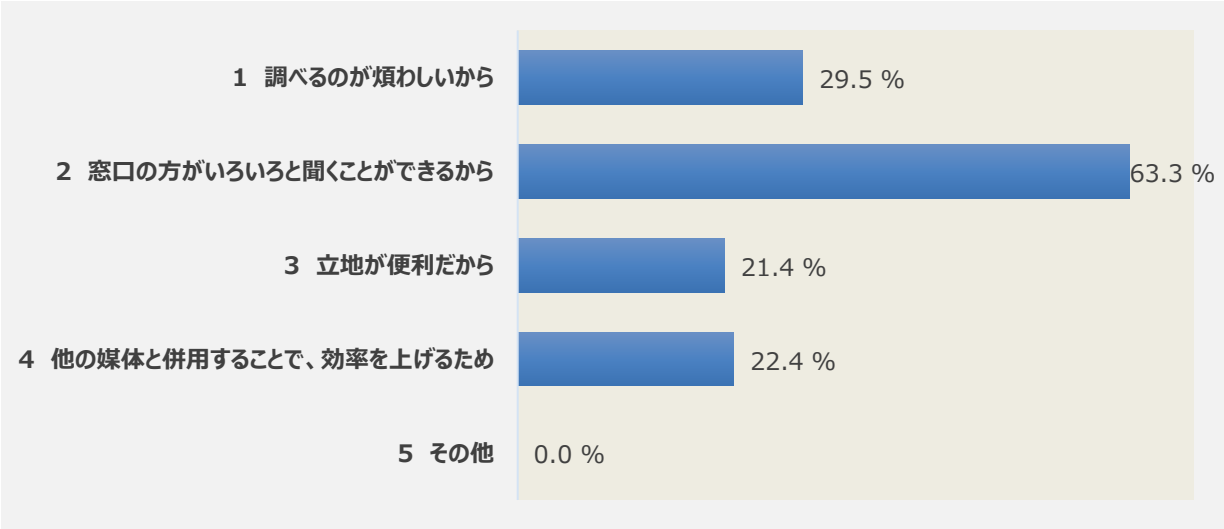


【全体的傾向】

・　しごと情報ひろばやハローワークなどの相談員と直接相談できる窓口、並びに求人サイト・アプリや情報誌などの紙媒体を利用しようと考えている方が多い。

（問６で１を選択した場合）
問７　窓口を選んだ理由はなぜですか。あてはまるものをすべて選択してください。

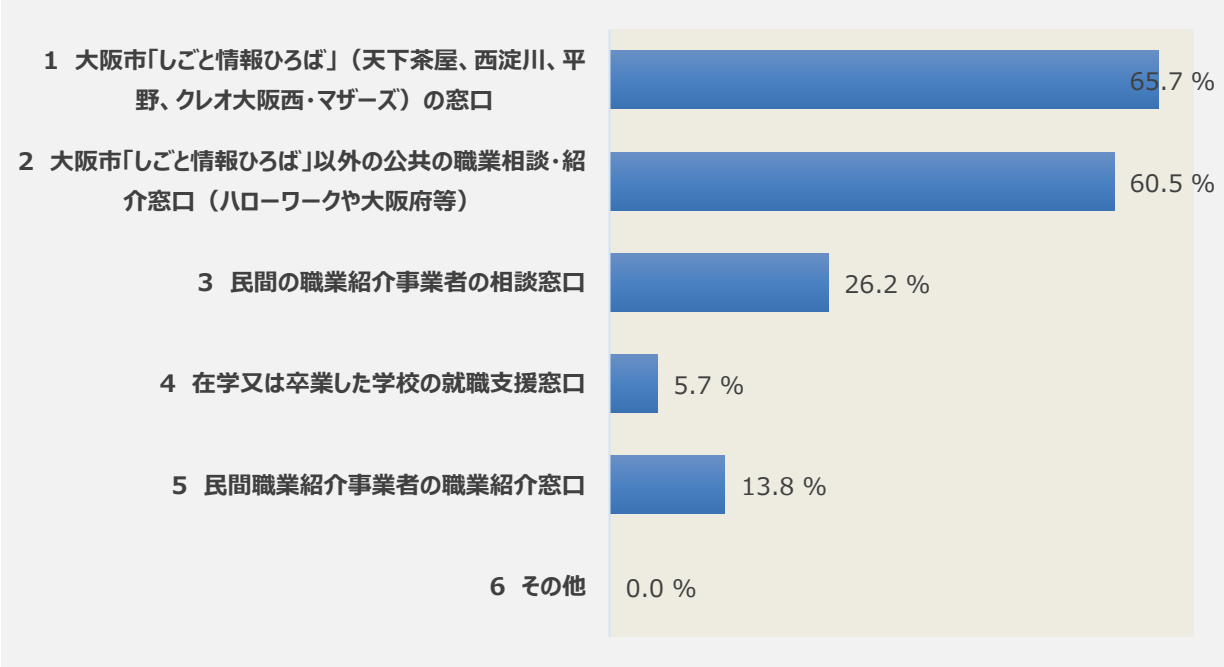
選択項目（※複数回答可）	回答者全体(210 名)	
	回答数	%
1　調べるのが煩わしいから	62	29.5
2　窓口の方がいろいろと聞くことができるから	133	63.3
3　立地が便利だから	45	21.4
4　他の媒体と併用することで、効率を上げるため	47	22.4
5　その他	0	0.0



【全体的傾向】
・　窓口で相談員と直接話をすることにより、さまざまな情報を入手できることや、いろいろな相談にのってもらうことを期待する方が多い。

（問６で１を選択した場合）
問８　どの窓口サービスを利用しようと思いますか。あてはまるものをすべて選択してください。

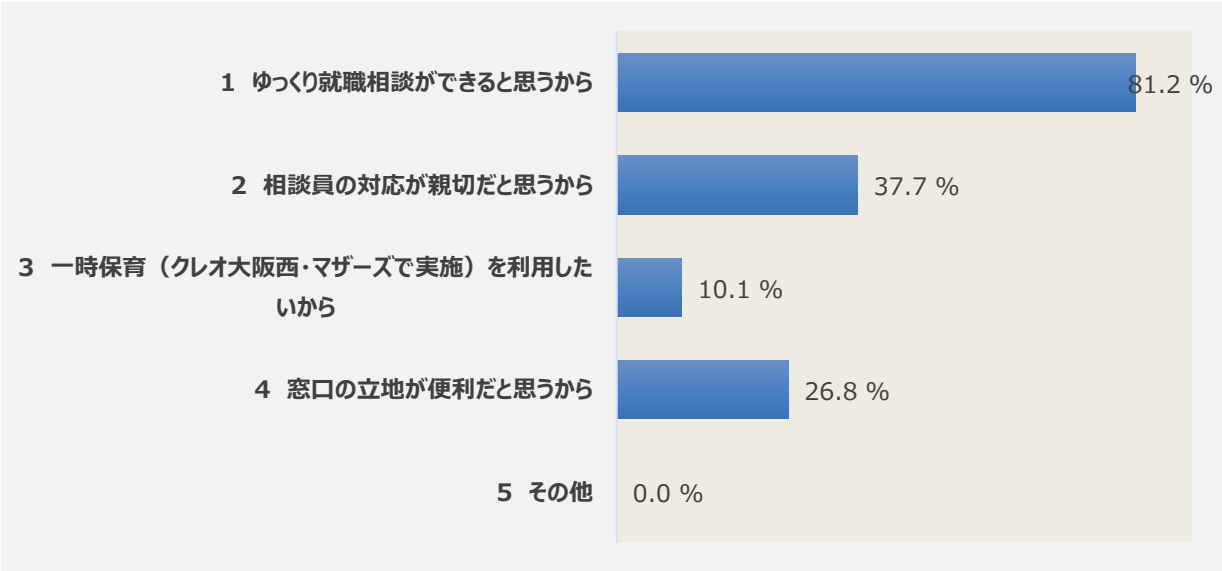
選択項目（※複数回答可）	回答者全体(210 名)	
	回答数	%
1　大阪市「しごと情報ひろば」（天下茶屋、西淀川、平野、クレオ大阪西・マザーズ）の窓口	138	65.7
2　大阪市「しごと情報ひろば」以外の公共の職業相談・紹介窓口（ハローワークや大阪府等）	127	60.5
3　民間の職業紹介事業者の相談窓口	55	26.2
4　在学又は卒業した学校の就職支援窓口	12	5.7
5　民間職業紹介事業者の職業紹介窓口	29	13.8
6　その他	0	0.0



【全体的傾向】
・　公的な機関の窓口を活用しようと考えている方が多い。

（問８で１を選択した場合）
問９　あなたが、大阪市「しごと情報ひろば」を利用される理由は何ですか。あてはまるものをすべて選択してください。

選択項目（※複数回答可）	回答者全体(138 名)	
	回答数	%
1　ゆっくり就職相談ができると思うから	112	81.2
2　相談員の対応が親切だと思うから	52	37.7
3　一時保育（クレオ大阪西・マザーズで実施）を利用したいから	14	10.1
4　窓口の立地が便利だと思うから	37	26.8
5　その他	0	0.0

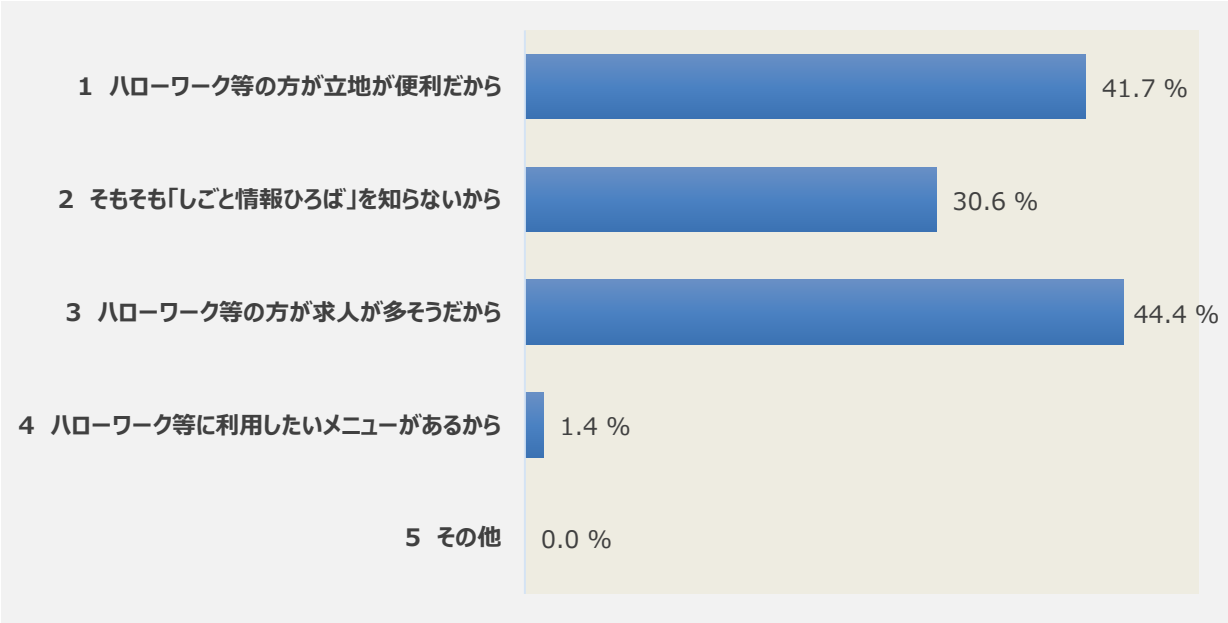


【全体的傾向】

・　「ゆっくり就職相談ができると思うから」という理由が 81.2%と圧倒的に多く、次に「相談員の対応が親切だと思うから」という理由が 37.7%となっている。

（問８で１を選択しなかった場合）
問１０　あなたが、大阪市「しごと情報ひろば」以外の窓口を利用しようと思う理由は何ですか？あてはまるものをすべて選択してください。

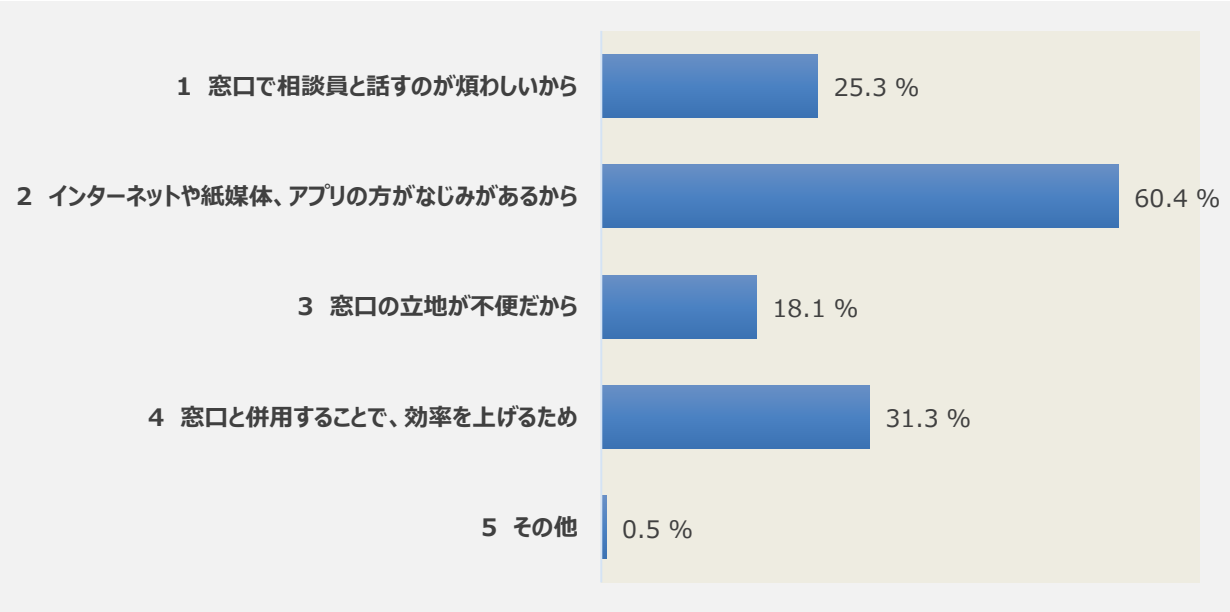
選択項目（※複数回答可）	回答者全体(72 名)	
	回答数	%
1　ハローワーク等の方が立地が便利だから	30	41.7
2　そもそも「しごと情報ひろば」を知らないから	22	30.6
3　ハローワーク等の方が求人が多そうだから	32	44.4
4　ハローワーク等に利用したいメニューがあるから	1	1.4
5　その他	0	0.0



【全体的傾向】
・　「しごと情報ひろば」よりハローワーク等の方が「求人件数が多そう」「立地条件がよい」などと感じている方が多い。

（問６で２を選択した場合）
問１１　あなたが、紙媒体や就職求人サイト・アプリを選んだ理由はなぜですか？
あてはまるものをすべて選択してください。

選択項目（※複数回答可）	回答者全体(182 名)	
	回答数	%
1　窓口で相談員と話すのが煩わしいから	46	25.3
2　インターネットや紙媒体、アプリの方がなじみがあるから	110	60.4
3　窓口の立地が不便だから	33	18.1
4　窓口と併用することで、効率を上げるため	57	31.3
5　その他	1	0.5

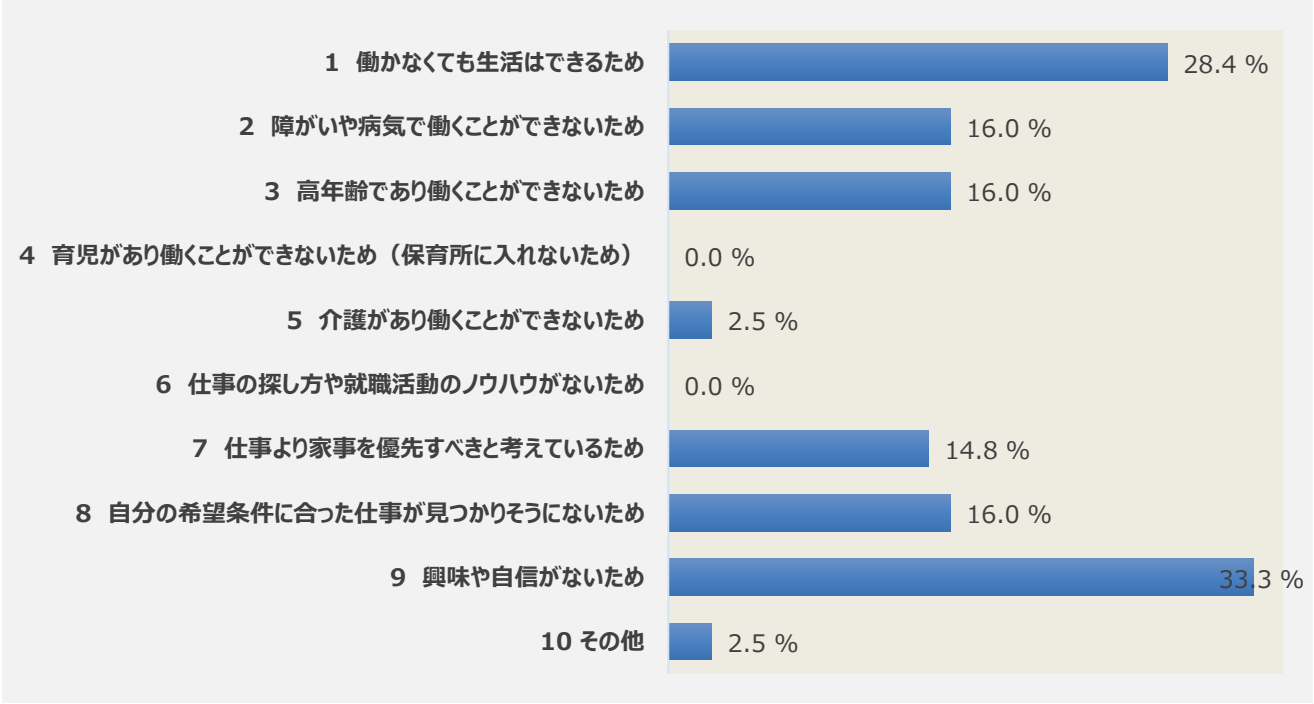


【全体的傾向】

・　紙媒体や就職求人サイト等の方がなじみがあると考えている方が最も多い一方で、窓口の「相談員と話すのが煩わしい」「立地条件が悪い」などの声もある。

（問１で５を選択した場合）
問１２　これからも働くつもりがない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選択してください。

選択項目（※複数回答可）	回答者全体(81 名)	
	回答数	%
1　働かなくても生活はできるため	23	28.4
2　障がいや病気で働くことができないため	13	16.0
3　高年齢であり働くことができないため	13	16.0
4　育児があり働くことができないため（保育所に入れないため）	0	0.0
5　介護があり働くことができないため	2	2.5
6　仕事の探し方や就職活動のノウハウがないため	0	0.0
7　仕事より家事を優先すべきと考えているため	12	14.8
8　自分の希望条件に合った仕事が見つかりそうにないため	13	16.0
9　興味や自信がないため	27	33.3
10 その他	2	2.5



【全体的傾向】
- 高齢や障がい・病気などの身体的な要因、育児や介護などの家庭環境面を理由としてあげる方が多い。
- また、働きたいが自信が持てなかったり、自分に合っている仕事が見つかりそうにないと感じている方も多い。